

# 「取手駅西口開発」を考える

シリーズ

⑥



「旧東急ビル」再開へ向けて

繰り返した駅前開発の失敗。これらの反省もなく、市民不在で進む「ウェルネス・タウン取手市の創造」構想。そして公有地売却への消えない疑惑…。市民の圧倒的な願いは「旧東急ビル」の再開。改めて取手駅西口開発について考えてみましょう。ご意見をお聞かせください。

シリーズ①～⑤はホームページに掲載しています。

市民の  
願いは

## 「旧東急ビル」再開で 買い物便利・にぎわいの 駅前に

東急ビルは、取手市が第一種市街地再開発事業として取手駅西口前広場やデッキ等とともに施行し、完成したのが1985年。とうきゅうストアの25年間の営業に終止符を打ち、閉店(2010年8月31日)から2年が経とうとしています。商業施設「旧東急ビル」の再開を願う市民の声は強まるばかりです。

### ますます強まる「旧東急ビル」再開の要望

駅前には「暗くてさみしく買い物に不便」と、「旧東急ビル」について市民が等しく再開を求めています。駅前に必要な公的施設は、新たな建物建設・ウェルネスプラザより「旧東急ビル」の活用が有効です。これは圧倒的多数の市民が考えていることです。「旧東急ビル」に「公的施設が導入されれば、商業テナント出店も可能になる」と、地権者のみなさんも願っています。「旧東急ビル」再開は市民、地権者の共通の願いです。

### なぜ?空きビルを活用せずルール違反の箱もの建設

取手市が策定した「ウェルネスプラザ」整備計画の概要について、「明るい取手」前号(シリーズ⑤)で紹介しました。駅前には商業中心となっている市の街づくり計画に合わない「ルール違反」で強行する計画に市民の要求があるのでしょうか?

「旧東急ビル」の活用を求める市民や地権者の声に背を向けて、取手市は施工者としての責任を投げ捨て、「旧東急ビル」再開には極めて消極的です。閉店してから2年が経とうとしているのに空きビルのままです。一方で、新耐震基準を満たす鉄筋コンクリートの野々井保健センター、藤代保健センターまでも閉鎖して、取手駅前に新設しようとしている「ウェルネスプラザ」に押し込もうとしています。こんな安易な計画では市民の合意は得られません。

### 健康・福祉・医療は暮らしの身近にあってこそ

各種健康診断、予防接種と健康・栄養・育児指導等を行い、市民の健康を守る行政の役割の中心を担っているのが保健センターです。野々井・藤代両保健センターを中心に、各種医療機関との連携で、市内各地の公共施設も活用し健診等の事業が行われてきました。

健康・福祉・医療の行政機能は、住民の身近な所にこそ必要です。一ヶ所に集中させ保健師等職員不足をまかなうための駅前へのセンター統合でなく、必要な職員配置で現センター機能の拡充こそが求められています。

### 過去の投資無駄にするのか ビル再開で街づくり・商工振興に生かすのか

「旧東急ビル」は、周辺整備を含め総事業費100億円以上をかけた市街地再開発事業として取手市が施行した大事業です。「旧東急ビル」閉鎖で西口デッキも効果半減、過去の投資を無駄にするのか、それとも、市民の願いに応え「旧東急ビル」再開で駅前ににぎわいを取り戻し、取手の街づくりと商工振興に役立てるのが問われています。取手市の責任と役割がますます重要な時をむかえています。

## こうすれば再開できる「旧東急ビル」

- ① 空きビル対策:テナント料引き下げに固定資産税減免、テナント出店への改装費等助成。
- ② 国の中心市街地再生のための空きビル再生支援策の活用。
- ③ 新たな箱もの建設より市民が駅前に必要とする公的施設の「旧東急ビル」への導入。
- ④ 地権者の合意により、消費者、商工団体、取手市等による(仮称)「旧東急ビル」再開協議会を設置し、新テナント・公的施設導入等ビル再開へ行政がリード促進する。

## 日本共産党が実施した 買い物アンケートに 寄せられた声から

新町、中央タウンのみなさんを対象  
に実施(2011年)

- 東急ストアは、1-8Fあるが、1Fと2Fだけでもよい。全部一度にやるとなかなか出来ない、出来ることから一つ一つやれば必ず出来ると思う。
- リブレ京成跡にも出店があればと思うが、東急ストア跡にはスーパーの出店は絶対に必要だ。ボックスヒルの肉・魚・野菜などは前より値段が上がっているようで買いにいけない。
- 東急ストア跡地のビルが、地域活性化につながるように公共性+スーパーといったような使い方も考えてほしい。
- 取手駅前の活性化は取手市としても何とかしてほしい。活性化しなければ人も離れてゆきゴーストタウン化してしまう。税金の優遇(2~3年の軌道にのるまで)など暫定的な対策も必要。
- 「市の顔である駅前には大型店もなく、人通りも少なく、寂しい町になってしまった。本当に悲しい」
- 「取手はいい所だと聞いていたのに、引越してきたら次々と店がなくなって、ガッカリしている」
- 「この地域は買い物難民の町だ。この町を去る人が増え、いずれゴーストタウンになるのではないか」
- 「取手駅に降りたら、店がないなんて信じられない光景だ。市は何をやっているのか。腹が立って仕方ない」
- 「買い物難民に対し、市の対応が遅い」
- 「茨城県で最も東京に近い市であるのに、この衰退ぶり。行政の怠慢のなせるわざだ」



空きビルのままの「旧東急ビル」  
(2012.7.3撮影)